

第1回 奈良県医師配置評価委員会 議事概要

I 開催日時：平成27年3月25日（水）18時00分～20時10分

II 開催場所：奈良県文化会館 第一会議室

III 委員：今川敦史委員、今中雄一委員、岡下守正委員、林直治委員、畠真夕美委員

IV 議 題：

1. 委員長選任及び委員長代理指名
2. 奈良県医師配置評価委員会の運営について
3. 奈良県医師配置評価委員会が行う評価について
 - (1) 県立医大医師派遣センターの運営について
 - (2) 評価について

V 公開、非公開の別：

一部（議題3（2））を非公開（その他は公開）

非公開理由：審議会等の会議の公開に関する指針3のイ（奈良県情報公開条例第7条
各号のいずれかに該当する情報について審議等を行う場合）
※第7条第2、5及び6号に該当

VI 議事概要：

議題1 委員長選任及び委員長代理指名

今中委員が委員長、今川委員が委員長代理に指名された。

議題2 奈良県医師配置評価委員会の運営について

資料1について、事務局から説明。

会議、概要情報及び評価結果の公開案のとおり承認された。

議題3 奈良県医師配置評価委員会が行う評価について

(1) 県立医大医師派遣センターの運営について

県立医大医師派遣センター（以下「センター」という。）の細井センター長、高橋副センター長から、資料P8～15に基づき、運営の概要について説明いただいた。

(2) 評価について

資料2について、事務局から説明を行った。

委員からは次のような意見があった。

- ・ 奈良県立医科大学が公立、公的病院から新しく派遣を要請された場合に、医師派遣センターが一元的にその要請を受けるとあるが、民間病院に派遣している医師を引き上げられて、その公立、公的病院の要請に応えるのではないかと懸念している。
- ・ 派遣が決まったときに、バックグラウンドを全く考えずに評価するか、ある派遣要請に全て応えたときにそれをもって高評価とするかなど、どのような評価をするかをある程度ディスカッションしなければならない。
- ・ 表面的なところだけを評価していれば逆効果となるので、注意する必要がある。
- ・ 医師の派遣される側からも、よい医療の学びができるかが重要になっている。派遣したかどうかだけでなく、魅力ある病院・研修環境を作っていくことがかなり効いてくるのではないかと。2次医療圏ごとに医師が増加している地域とその逆の地域があるという地域的な課題もある。地域性の問題も派遣に影響することを配慮したいと思う。その中で県全体の医師確保に貢献していくという大目標に向かっていけるように、委員会で議論していきたいと思う。
- ・ 県の計画や構想の視点というのも評価の視点に明示的に入れておいた方がいいのではないかと。
- ・ 全体を変えるわけにはいかないが、医師派遣センターの対象が公立、公的病院というのが気になる。地域を支えているのは民間病院も同様。このことに、配慮しながら進めないといけないと感じている。
- ・ 穿った見方をすれば、公立、公的以外の病院から公立、公的病院に送る機能にも見えかねない。公立、公的病院のことだけを考えているのではないということも評価基準に入れた方がいいかもしれない。
- ・ 今ある資源をどう使うかを地域医療構想で考えて、医療システムを再編していくという中で、奈良県全体として適切に医療にアクセスできるようにすること、医療の質を向上していくことなどが、県の方針としてあると思うが、それも評価の柱となる。地域差がないようにすることが重要で、ある機能は拠点化・連携の背景がある中で、かなりの難題を評価することになる。地域医療構想の状況についても県の方から説明を受けながら、委員会で考えることが必要と思う。

次回の委員会は、11月頃を予定し、4～9月の派遣の評価について検討する。

以上